

第 61 回群馬放射線腫瘍研究会の開催と演題募集のご案内

各位

晩秋を迎え、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

放射線治療においては、多くの職種が関わることから、多職種連携が重要であることは既知の事実です。また、それぞれの職種の中にも、放射線治療専門医、放射線治療専門技師、がん放射線療法看護認定看護師、医学物理士等、放射線治療に関する専門職が存在し、多職種のみならず、職種の中でもそれぞれの専門職と連携をとり、リーダーシップを発揮し放射線治療を行っています。このたび第 61 回群馬放射線腫瘍研究会を下記の通り開催することとなりました。本研究会は毎回、放射線治療を中心としたがん治療に携わるさまざまな職種の方々が、これからのがん放射線治療について活発に議論を行う場となっております。様々な分野・職種の方々から多数の演題をご応募いただけますようお願い致します。

今回は大阪大学大学院医学研究科保健学専攻 医療画像技術科学分野生体物理工学講座 医学物理研究室の西尾禎治先生に特別講演をお願いし、放射線治療における医学物理学・放射線技術研究についてご講演をいただく予定です。

今年度は現地の開催を予定しております。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

記

日時：令和 6 年 2 月 10 日（土） 14：00～17：00

場所：群馬大学医学部附属病院 基礎講義棟 基礎大講堂

主催：群馬放射線腫瘍研究会

第 61 回群馬放射線腫瘍研究会
大会長 高林 啓司